

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 9月

令和5年9月1日の推計人口 1,267,048人
世帯数 558,085世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

【賃金・労働時間・雇用（30人以上）】 …… 7月
1人当たり現金給与総額 343,070円
対前月比 15.8%減少
対前年同月比 4.8%増加

1 推計人口

令和5年9月1日現在の推計人口は、1,267,048人で、前月（1,268,216）に比べ1,168人の減少となった。

市部では、大村市（101）の1市で増加し、長崎市（△471）、佐世保市（△232）、諫早市（△127）、平戸市（△68）、南島原市（△50）、壱岐市（△40）、五島市（△32）、西海市（△22）、対馬市（△20）、松浦市（△19）、島原市（△11）、雲仙市（△2）の12市で減少した。

郡部では、長与町（16）、川棚町（7）の2町で増加し、時津町（△129）、新上五島町（△28）、佐々町（△18）、波佐見町（△10）、小値賀町（△7）、東彼杵町（△6）の6町で減少した。

自然動態は、出生数609人、死亡数1,630人で1,021人の減少、社会動態は、転入者数3,393人（県内転入を含む）、転出者3,540人（県内転出を含む）で、147人の減少となった。

2 世帯数

令和5年9月1日現在の世帯数は、558,085世帯で前月（558,362）に比べ277世帯の減少となった。

（注）

・異動人口推計＝R2国勢調査確定数＋住民基本台帳（転入、転出、出生、死亡）

1 賃金

7月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は343,070円で、前月に比べ15.8%減少し、前年同月に比べ4.8%増加した。

現金給与総額を定期給与（きまって支給する給与）と特別給与（特別に支払われた給与）に分けると、定期給与は246,259円で、前月に比べ0.8%増加し、前年同月に比べ2.2%増加した。

特別給与額は96,811円で、前年同月に比べ、10,054円増加した。

2 労働時間

7月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は146.5時間で、前月に比べ3.6%減少し、前年同月に比べ1.0%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は135.7時間で前月に比べ3.9%減少し、前年同月と比べ、1.0%減少した。

所定外労働時間数は10.8時間で、前月に比べ0.0%と同率、前年同月に比べ0.9%減少した。

3 雇用

7月の常用労働者数は210,632人で、前月に比べ、1.5%増加し、前年同月に比べ1.3%減少した。

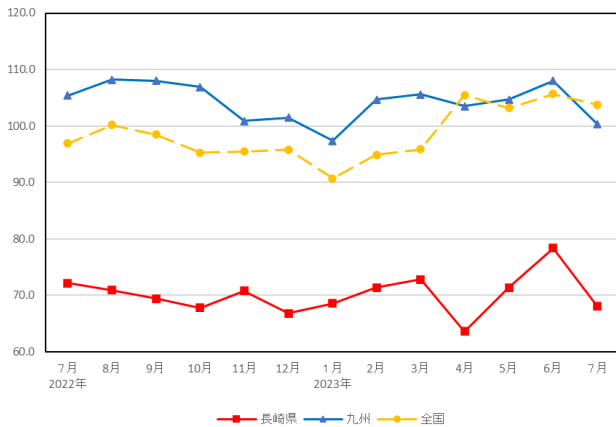
【鉱工業生産指数】……………7月

令和5年7月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数	前月比 (%)	原指数	前年同月比 (%)
長崎県	68.1	△13.1	69.3	△5.6
九州	100.4	△6.7	100.7	△4.8
全国	103.8	△1.8	105.4	△2.3

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2023年7月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が68.1で対前月比は13.1%の減、原指数は69.3で対前年同月比は5.6%の減となった。

業種別にみると、電気機械工業など4業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、輸送機械工業、繊維工業など9業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	29.5	交流発電機

○主な低下業種

業種	前月比 (%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	△46.6	蒸気タービンの部品・付属品
輸送機械工業	△17.6	修繕船
繊維工業	△12.6	ニット製、下着・補整着・寝着類

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………8月

総合指数(R2=100)	106.2
対前月比 (%)	+0.6
対前年同月比 (%)	+3.4

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、106.2である。

前月比+0.6%で、主な上昇要因は「食料」の+1.3%、「教養・娯楽」の+1.8%であり、主な下落要因は「光熱・水道」の△1.3%である。

前年同月比は、4月は+3.1%、5月は+3.2%、6月は+2.9%と推移した後、7月は+3.3%と推移した後、8月は+3.4%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は105.8で前月比+0.4%であり、前年同月比は+3.3%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

食料	1.3 %
教養・娯楽	1.8 %
交通・通信	0.8 %
諸雑費	0.7 %
家具・家事用品	1.0 %

同水準の費目

住居	±0.0 %
被服及び履物	±0.0 %
保健医療	±0.0 %
教育	±0.0 %

▽下落した費目

光熱・水道	△1.3 %
-------	--------

※上記は、物価の寄与度が高い品目より順に上から記載している。

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………8月

消費支出(一世帯当たり)	384,759円
前月比	116,833円増 (43.6%増)

令和5年8月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は384,759円で、前月比43.6%の増、前年同月比は36.8%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は85.4%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。